

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 786

事務事業名称	財政運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	財政課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法、地方財政法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	行政サービスを享受する枚方市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	少子高齢化等による税収の減少・扶助費の増加や、公債費の増加等、本市財政の状況が年々厳しさを増すと予想される中での、健全な財政運営。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	長期的な視点に基づく財政運営により、将来にわたり実質収支の黒字を維持し、安定的な行政サービスの確保や新たな施策・財政需要に柔軟に対応できる財政構造が構築されている状態。				
事業概要	財政の健全性を維持するため、実質収支や健全化判断比率などの財政指標を踏まえた予算編成や、決算見込みによる執行管理、計画的な起債借入れ・償還、基金管理を通じ歳入の確保及び歳出の抑制などに努める。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			財政の健全性が維持される。				収支均衡を基本とした、堅実な財政運営を行う。						
指標設定	指標説明	健全化判断比率(財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標)の状況における実質赤字比率(一般会計等の実質赤字額の標準財政規模に対する割合)(決算)				長期財政の見通しにおける実質収支額							
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	%	単位	億円				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					0	0	0	0	16	11	12	11
達成度									208%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	6.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	47,850	45,178	46,872		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	47,850	45,178	46,872		
	物件費計	12,411,119	14,267,179	12,998,675	14,590,274	89.1%
歳出計		12,458,969	14,312,357	13,045,547		
歳入	国庫支出金	0	242,919	242,725	244,163	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	84,213	52,559	74,649	97,635	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	84,213	295,478	317,374	341,798	
一般財源（物件費に充当されるもの）		12,326,906	13,971,701	12,681,301	14,248,476	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>①本市財政を取り巻く環境が厳しい中であっても、市民サービスの低下を招くことなく、将来にわたり安定した財政状況を維持する必要があることから、税制改正などの本市財政への影響を踏まえ、今後取り組むことが予定される様々な事業について、その実現可能性を明らかにするとともに、長期的な視点による財政状況の把握を行うことを目的として、令和5年2月に「長期財政の見直し」の見直しを行った。</p> <p>②令和3年度決算に基づき、一般会計等及び特別会計・一部事務組合等を含めた財務書類を統一的な基準により作成した。さらに、財務書類の活用として、他団体との比較分析を行い、その内容を令和4年度に発行の「枚方市の財政事情」に反映した。</p> <p>③基金の積み立て及び取り崩しについては、令和4年度の収支状況を踏まえ下記のとおり行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金については、今後の財政需要に備え、決算剰余金や寄附金、利子分等で約19億3千万円の積み立てを行った。</li> <li>・減債基金、施設保全整備基金並びに枚方市駅周辺再整備推進基金については、約5億円の積み立てを行った。</li> </ul>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	収支均衡を保ち、新たな市民ニーズへの対応が可能な、安定した財政構造の確立に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 787

事務事業名称	市議会調整事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	財政課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市議会・市議会議員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市議会に関する市長の法定事務等を適正に行うことにより、議会関係事務を円滑に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	議案書等の作成、提出、質疑取りまとめ等の議会関係事務を円滑に行うことにより、市の意思決定機関であり市民を代表する市議会において、市長が提案する予算案、条例案等の議案について適正で生産的な審議が行われている状態。				
事業概要	市議会開催にあたり、市長の権限で実施しなければならない、市議会の招集や議案等の提出などの各種事務を行っているほか、①議案、委員協議会案件の取りまとめと議案書・予算書及び各種資料の作成、②議案及び予算・決算特別委員会の質疑の取りまとめを行っている。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		議会関係事務が円滑に行われる。				市議会に関する市長の法定事務等を適正に行う。							
指標設定	指標説明	提出議案の可決率				適正で生産的な審議が行われるための提出議案数(聴取・認定・同意等含む)							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	%	単位	件				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	—	100	100	100
達成度					99%				136%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	23,925	15,714	15,624		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,925	15,714	15,624		
	物件費計	3,081	2,437	2,669	3,629	73.5%
歳出計		27,006	18,151	18,293		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,081	2,437	2,669	3,629	

## 5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度においては、開会議会1回、定例会議会4回、緊急議会1回を招集し、報告21件、認定10件、議案136件を市議会に提出した。
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	効率性及び確実性を確保しながら、市議会開催が円滑に行われるよう事務執行に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 856

事務事業名称	財政課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	財政課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	財政課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行えており、職員が財政運営事業等の健全な財政運営に全力で取り組んでいる状態。				
事業概要	課の運営業務				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,975	7,857	7,812		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,975	7,857	7,812		
	物件費計	43,898	43,907	35,556	36,552	97.3%
	歳出計	51,873	51,764	43,368		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,394	3,050	3,050	3,050	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,394	3,050	3,050	3,050	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	41,504	40,857	32,506	33,502	

## 5. 総括的分析

総括的分析	財務会計システムの維持管理、物品購入等について適正な事務を行った。
-------	-----------------------------------

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営に係る事務を正確かつ迅速に実施することにより、所管事務を効率的に執行していくよう努める。